

大切な税金

旭川市立広陵中学校 三年 宮下 皓成

僕が朝起きてから学校へ行くまでの短い間だけでも、自分達の生活にはたくさん税金が使われていることに気づきます。蛇口をひねるだけで得られる水、ゴミの回収、カーブミラーに道路標識。そして無料でもらった教科書に授業。パツと頭に浮かぶものだけでもこんなであり、国民みんなが納めた、たくさん税金が使われていることに改めて気がつきます。

今回の作文を書くにあたり、僕は母に今までで一番助けられた税金は何だったのか聞いてみたところ、

「そりゃあ、コウ（僕）が産まれたとき」

と、言われました。僕が使ったのは、税金の使い道で一番多くを占める「社会保障費」にあたり、調べるととてもありがたい制度であることを知りました。僕が産まれたとき、救急車を使うことから始まり、夜中にたくさん医師や看護師の皆さんが一生懸命に働いて僕を助けてくれて、未熟児で産まれたために一ヶ月も集中治療室の保育器で育ちました。そして、これらの医療サービスには、きつともすごい高額な税金が使われていただろうという事実に驚きました。

外国では事故にあい救急車を呼んだだけで十万円以上かかるという記事を見たことがあります。もし仮に日本で社会保障制度が整っていなかったら、僕の家はお金で苦労していただろうし、今のように元気に学校へ通えていなかったかもしれません。

しかし、今その社会保障制度が大きな危機を迎えようとしているようです。それは少子高齢化による働く世代の減少が理由だということでした。夏休み中にも眼科に皮ふ科、歯科に小児科と、今でも何度も社会保障制度に助けられている僕としては、絶対なくしてはいけない制度だと思っています。なぜならもしその崩壊を止めることができなかつたら、貧しければ適切な医療を受けることができなくて多くの人が困る事態となる一方で、高度な医療を受け命が助かって退院後の生活が苦しくなってしまうのも不幸なことだからです。

僕もあと数年で本格的に税金を納める一人となります。ニュースを見ると増税の話題があがるたびに不満の声があがっています。でも産まれたときから税金にお世話になり、高水準の生活を税金によって得られる先進国の日本で育ってきた僕には、水の出ない蛇口や汚いゴミステーション、危険な道路等このような状態の中、安心して生きていくことはできません。今の医療や高いレベルでの公共サービスなどの生活を守るためには、しっかり税金を納めていかないといけないと思っています。

国民の三大義務の一つである納税の義務。

これをしっかりできる大人になれるよう頑張ります。